2017年秋季学術大会巡検報告

巡検第3班 志摩地域の自然・観光・海女文化

目崎 茂和・中川 正・安食 和宏

MEZAKI Shigekazu, NAKAGAWA Tadashi and AJIKI Kazuhiro

I 巡検の趣旨

本巡検は、2017年10月1日（日）に実施された。三重県の南東部に位置する志摩地域（行政上は鳥羽市と志摩市）は、風光明媚な観光地として知られ、全域が伊勢志摩国立公園に含まれている。2016年には先進国首脳会議（サミット）が開催され、その知名度が上昇した。今回の巡検では、著名なりアス海岸など、志摩地域独特の自然条件を把握し、地域の自然を活かしたこれまでの観光開発の様相を観察する。また当地域は、日本一海女が多い地域であるため、海女文化をはじめとした豊かな海の文化も学ぶことを目的として設定した。

II 日程・コース

10月1日（日）8時30分に津駅西口に集合し、16時鳥羽駅で1次解散、17時10分に津駅西口で解散となった。

巡検のコースは以下の通りである。津駅西口—志摩市・横山展望台—賢島・サミット記念館「サミエール」—（昼食）—志摩スペイン村—相^{おうさつ}差—海女文化資料館と神明神社・石神さん—パールロード—（鳥羽展望台での観察は都合により割愛した）—海の博物館—鳥羽駅で1次解散—津駅西口で解散。

なお当日の参加者は、案内者を含めて計16人であった。

III 巡検の概要

1. 志摩地域の自然条件

津駅西口を出発後、津ICより伊勢自動車道を経由

し、伊勢西ICより伊勢市の市街地に入った。休日の多くの観光客で賑わう伊勢神宮・内宮の近くを通り、伊勢道路を走り、志摩市に至った。

まず、最初の目的地である横山展望台へ向かった。ここは伊勢志摩国立公園の一つの核となっている地点である。晴天の下、展望台より英虞湾を望み、複雑に入り組んだりアス海岸と真珠の養殖いかだを眺めるこ

写真1 横山展望台での地形などの観察

写真2 横山展望台より英虞湾を望む

とができた。ここで、地形の成り立ちと養殖の歴史などについて、説明がなされた(写真1, 2)。

2. 志摩地域の観光開発

次に、近鉄・賢島駅に移動し、バスを降りた。2016年の先進国首脳会議(サミット)の会場となった志摩観光ホテルなどが立地する賢島は、近鉄グループによる観光開発の拠点である。そうした状況を観察した後、駅の2階に位置する伊勢志摩サミット記念館「サミエール」を見学した(写真3)。ここには、会議で実際に使われた円卓などが展示されている。

昼食は、志摩市鵜方^{うがた}のレストランで、志摩地域の郷土料理であるてこね寿司をいただいた。

午後は、鵜方より北に向かい、志摩スペイン村を訪ねた(写真4)。ここは、リゾートブームの時代(1994年)に、近鉄グループが中心となって開業したテーマパークである。2015年資料では、年間入り込

み客数は128万人である(百五経済研究所2017)。今回は時間の都合上、入口付近での観察のみとなった。

3. 志摩地域の海女文化

次に向かったのは、鳥羽市相差である。ここは海女の町として有名であり、また、海鮮料理を目玉にして数多くの旅館や民宿が競い合っている観光地区でもある。

まず、相差海女文化資料館を訪問し、海女関連の資料を見学した。この場で、海女の伝統文化に関する説明がなされた。海の博物館(2016)によると、相差地区の海女さんは108人であり、この地域内で最も多い(2014年調査)。

次に、近くの神明神社を訪ねた。この参道には「石神さん」と呼ばれる小さな社があり、女性の願いを必ず一つ叶えてくれるといわれている。それがマスコミで取り上げられ、パワースポット・ブームの中、数多

写真3 「サミエール」内部の展示

写真5 相差のパワースポット「石神さん」

写真4 志摩スペイン村の入口にて

写真6 海の博物館の内部の展示

くの参拝客が訪れるようになったという事情がある。当日も、ひっきりなしに女性がお参りに来ている様子が観察できた(写真5)。そして、その近くには、女性客目当ての店が相当増えたことも理解できた。

その後、バスはパールロードを經由し、海の博物館に移動した。ここは1971年に開業(1992年に現在地に移転)した、海の環境・文化・民俗などをテーマとした博物館である(写真6)。ここで、志摩地域の海女に関するビデオ映像を見たのち、参加者は各自で館内の展示物を見てまわった。多くの参加者が海女に関する調査報告書を購入していた。

その後、バスは鳥羽駅に向かい、そこで1次解散となった。そして、伊勢二見鳥羽ラインと伊勢自動車道

を經由し、津市に戻り、津駅で解散となった。

当日は好天に恵まれ、おおむね予定通りに巡検を実施することができた。ただし、時間に余裕があれば、よりじっくりと志摩地域の特色と魅力を理解できたのではないかと思われた。最後に、今回の巡検実施にあたりお世話になった方々に感謝申し上げます。

参考文献

- 海の博物館編 2016.『目で見る鳥羽・志摩の海女. 第3版』海女振興協議会.
大喜多甫文 2007. 伊勢志摩. 藤田佳久・田林 明編『日本の地誌7. 中部圏』358-366. 朝倉書店.
百五経済研究所編 2017.『三重県経済のあらまし——最新の動きをつかむ2017』百五経済研究所.

〈著者紹介〉

目崎 茂和(めざき しげかず)

三重大学名誉教授

中川 正(なかがわ ただし)

三重大学人文学部教授

安食 和宏(あじき かずひろ)

三重大学人文学部教授